

〈発行〉

令和7年3月

芳川

地域づくり協議会

【令和6年度の取組み】

令和5年度に地域づくり協議会の体制見直しを行い、運営委員会を毎月行うことにより、各部会の活動状況を共有しています。令和6年度は、「防災」を重要課題として様々な事業に取り組みました。

令和6年度に取り組んだ事業を紹介します。

【地域づくり学習会①】

5月18日に「高めよ防災力」令和6年能登半島地震の現場から」と題し、地震の現場を実際に視察した松本市危機管理課職員、原主事から道路状況や避難所の様子の写真とともに「行政・施設管理者・自主防災組織（住民）の3者が連携」や「自助・共助・公助の日頃からの備え」が大切であることなどについて講演いただきました。道路が寸断された場合、市から物資が芳川地区に届くまでに時間がかかるのではないかとといった質問が出ました。各町会で行う防災

訓練や防災資機材の整備、有事に対する日頃からの各自の備えの必要性を感じました。

【避難所開設訓練】

平成23（2011）年6月30日に発生した長野県中部地震（松本地震、マグニチュード5.4、震度5強を記録）発生から13年が経過しました。また、令和6年1月1日には能登半島地震が起こり、日本各地のどこで地震が起きてもおかしくない状況です。そこで、松本地震の経験と教訓を忘れないため、日頃から防災意識を持ち、有事に備えるため、6月30日に芳川小学校体育館で避難所開設訓練を実施しました。各地区の関係団体など総勢83人の参加がありました。避難所開設・運営ガイドラインに沿って、各班（総務、救助・要援護者受付、物資・施設管理、情報広報、避難者管理、衛

生、食事・炊出し、ボランティア）に分かれ業務内容の確認、防災倉庫や備蓄品の確認のほか、段ボールベットの組立て・解体、寝袋体験、簡易トイレの組立てなどを行いました。

その後、日を改め、避難所運営委員会を開催し、開設訓練での課題について情報共有しました。会議で出た課題などを踏まえ、芳川版の防災リーフレットを作成し、配布する予定です。



避難所開設訓練

【防災フェスタ】

9月29日に安全部会の各団体や地元企業も参加し、防災フェスタを開催しました。蟻ヶ崎高校書道部

のパフォーマンス後、段ボールベットの組立て・解体や



書道パフォーマンス

簡易トイレキットの実体験、日赤奉仕団によるハイゼックス炊飯袋での炊飯体験、ロケット車からの給電などの様々な体験を行いました。また、日頃から利用でき、準備しておく役立つ防災グッズである、メスティンでの炊飯体験やポータブル電源の展示も行いました。【次ページに続く】

協議会で取組む事業

- * 災害等に備えた安全な地域づくり
- * 安心して暮らせる健康と福祉の地域づくり
- * 子どもの健全育成と活力のある地域づくり
- * 生活環境の良好な地域づくり
- * 歴史を尊び、文化を育む地域づくり



防災フェスタの締めくくりとして、瑞松寺の住職である茅野俊幸(ちのしゅんこう)さんを講師にお迎えし、能登半島地震の直後から何回もボランティアとして現地に入り活動をしていく状況について講演いただきました。「衛生環境を確保する女性スタッフの不足」や「公助に頼る前に、まずは自助・共助」「連絡が取れる人とのつながりの大切さ」など多くの「気づき」につながる場となりました。



茅野俊幸氏の講演会

また、「まるっと青空市」の出店もあり、地元の方の出店や体験ブースもあり、大人から子どもまで体験

して学べる充実したイベントとなりました。

【健康フェスタ・

楽笑レクゲームの集い】

10月30日南部屋内運動場を会場として健康フェスタと楽笑レクゲームが開催されました。豆つかみ競争、出汁当てクイズ、車いす体験のほか、市の健康づくり課の骨密度測定、毛細血管解析、信州大学の肝炎予防クイズなど、様々なブースがあり大盛況でした。



健康フェスタでの体験ブース

当日は、「まるっと青空市」も開催され、地元の方の出店や障がい者施設の焼きだてパンや芳川小学校児童の出店もあり、地域の方々の交流の場となりました。

した。

また、楽笑レクゲームの集いでは、新聞やペットボトルなどを使った普段目に見えない競技種目に子どもからシニア世代までが一緒のチームになり汗を流していました。「楽笑」の字の名のとおり笑顔あふれるイベントになりました。



楽笑レクゲームの集い

【地域づくり学習会②】

2月1日の学習会では、能登半島地震の被災地支援のため現地で活動を行った市の社会福祉協議会の西澤さんと塩原さんに災害ボランティアセンターの役割や活動内容について、ご講演いただきました。その後、令和元年10月に発

生した長野市の豪雨災害の際に松代地区の会長さんとしてご活躍された町田修さんを講師にお招きし、町会役員として災害対応された当時の様子をお話しいただきました。「災害は一人で対応できるものではない。行政が来るまで地域で持ちこたえなければならぬ」と思った時にはじめて腹がくくれた。「住民をどう避難させるか、灯台になる人が必要」など大変貴重なお話しを伺うことができました。

【その他各部会の事業】

青少年育成部会では、各団体及び各学校の避難時の対応についてマニュアル等を用い、情報共有を行いました。災害時、各施設や団体のマニュアルや避難訓練の実施など確認し合いました。その後、保護者への引渡しについて議論となり、異年齢の兄弟のお迎えは、年少者からするのか、

年長者からするのか、各施設がどのように連携していたら良いのかなどについて話し合いを行いました。

くるまぎ部会では、今年度2年目となる地域農業を応援することを目的とした「農業体験」を実施しました。初夏から秋にかけて小さなお子さんや、働き世代の方々11組が参加し、普段何気なく食べているお米や野菜を作るのにとくさんの工程や苦労があることを学びました。また、今年度の新たな取組みとして、地区文化祭で「野溝箒」作りの実演や「水路と地域の変遷」の話を古地図を用い、行いました。



地域農業応援企画「農業体験」

芳川かわら版

LINE公式アカウント
芳川かわら版委員会

総集編



筑摩野中学美術部の生徒さんに描いてもらったアカウントのロゴです☆
左右のデザインは何をイメージしているでしょう？
(答えは左下)

災害が発生したとき、芳川

地区では、できる限り自宅避難を勧めています。そのためには、日頃からの備えが大切です。そこで、LINE公式アカウント「芳川かわら版」では、防災備蓄などの情報を動画や写真つきで少しずつ配信しています。

一度に準備するのは大変だけど、少しずつならできかも♪ これだけそろえておけばちょっとと安心！ へ〜こんな便利なものがあるんだ、と思ってもらえる情報を今後も発信していきます。

今回は、1年間に配信した内容を総集編としてご紹介します。



これまで配信した防災備蓄情報

- * 水：1人1日3リットル。1週間、家族分の備蓄を！
- * 食べ物：パックご飯、アルファ米、缶詰入りパン、缶詰（魚、肉、果物、副菜）、日持ちするお菓子類
- * カセットコンロ、ガスボンベ
- * 簡易トイレキット（携帯トイレ）
- * ポータブル電源、モバイルバッテリー
- * 照明（ライト）、乾電池
- * 寒さ対策：防寒具、寝袋、カイロ、アルミ保温シート、湯たんぽ、電源不要の石油ストーブ
- * トイレットペーパー：1人1か月4ロール
- * ウェットティッシュ、ウェットタオル・ボディシート、水のいないシャンプー
- * 口腔ケア用品（歯磨きシート、液体ハミガキ、洗口液）



動画や写真で紹介しました

- * パッククッキング（協力：芳川地区の食生活改善推進員）
- * 家のトイレで簡易トイレキットを使う方法 好評でした!
- * 災害時の伝言サービス
- * エコノミークラス症候群予防“かんたん体操”（協力：芳川地区スポーツ推進委員）
- * 災害時の口腔ケア
- * キッチンペーパーを使ったマスクの作り方
- * ペットボトルランタンの作り方 など…



LINE公式アカウントの「投稿」画面で、過去の配信を見ることがができます。

防災情報だけでなく、芳川地区のイベントなど役立つ情報もお知らせしますので、ぜひ友だち登録をお願いします！

登録はこちら!



答え：奈良井川と田川
芳川地区はこの2河川には含まれています





社協だより

よしかわ

〈発行〉
令和7年3月
芳川地区
社会福祉協議会

会長挨拶



芳川地区社協
支会長 鈴木 嗣

芳川地区社協支会会長を
担当しています。村井町町
会町会長の鈴木嗣(あきら)
です。日頃、社会福祉協議
会の活動にご支援、ご協力
をいただき、改めて感謝申
し上げます。

令和6年度について、最
初に施設的な面から話を
させていただくと、村井駅
の新駅舎が完成し、それに
あわせ1・2階に新設され
た待合・学習スペースには、
事前に予測した以上に多
くの生徒・学生の皆さんが

来室されており、成功事例
の一つかと思えます。また
一昨年7月にオープンし
たイオンタウン松本村井の
「あんさんぶる」も関係者
の皆さんの努力により、各
種イベントが順調に開催さ
れ、多くの来訪者がみえら
れています。
そうした中で、昨年1月
1日に発生した能登地震
の際にクローズアップされ
た、地域によるさささえあい
あるいは、ボランティア活
動の重要性については、社
協の重要な活動テーマの一
つではあるものの、個人情
報保護あるいは勤務年齢
の上昇等の理由から、現実

的な推進が難しいのが実
情です。これらについては、
松本市社協ならびに芳川
地区の関係機関と連携
を取りながら、少しでも前
進できるよう引き続き活
動していきます。



あんさんぶるコンサート



こども達の長期休みの居
場所づくりと地域の方々
との交流を目的に始まった
「よしかわこども食堂」は、
芳川公民館を会場に令和
6年度は、夏休みに2回、
春休みに1回の合計3回
開催しました。小学生・中
学生・大学生・地区のボラ
ンティアなど幅広い年代が
集まる賑やかな多世代交
流の場になっています。
学習支援だけでなく、防
災に役立つパッククッキング
講座や手芸体験など、
子ども達だけでなく、大人
も楽しんでいました。初め
て会った子同士でも、トラ
ンプやジェンガ等のテーブ
ルゲームで仲良くなったり、
静かに本の世界に入り込

む子の姿も見られました。
昼食はカレーライスやハ
ヤシライス、サラダ等を提
供しました。「楽しかった」
という感想を多くいただき
ました。

今後とも長期休みの居場
所として、子ども達だけ
なく、地域の皆さんの憩い
の場の一つになるよう工夫
しながら継続していきたい
と思います。

【芳川地区生活支援員

吉澤】



よしかわこども食堂

